

竹取新聞

株式会社 カグヤ

東京都新宿区西新宿3-2-11
新宿三井ビルディング
2号館10階

第72版

理念と実践で
絆を結びます

平素より弊社の商品をご愛顧頂きましてありがとうございます。この新聞は、「子ども第一主義」の理念をカグヤクルーの日々の出来事からの内省を発信することで、皆様の保育に少しでもお役に立てればと始めたものです。記事中はそのまま実践を表現することを優先し、乱筆乱文で恐れ入りますが、何卒ご容赦くださいますようお願いいたします。

いまのきもち

徳島県にあります、さくら保育園様にお伺いしました。

玄関を入ると心地よいご挨拶と共に、遊び心たっぷりの職員紹介の掲示板が迎えて下さいました。そして園内を見学させて頂くと、「いまのきもち」というボードが目につきました。

園長の清重先生にこのボードについてお伺いすると、「人権というものを考えたとき、子ども達が今どんな気持ちでいるのかを表現出来る場が大切だと感じました。それは職員も同じです。なので、職員もどんな気持ちかを表現することが出来るようにしています。しかも、子どもってすごいので、先生、今こんな気持ちでしょーって先生のマグネットを移動して当てちゃうんですよ。」と楽しそうに仰っていました。

どんな気持ちかを話し合えたり共有し合えるという事は、ただの情報伝達ではなく「心の対話」だと感じますし、また「人間関係」を築くには、本音や本心を、そして人それぞれの違いを分かち合えることが大切だと感じます。さくら保育園様では大人も子どももそんな対話が自然と出来る環境を作られていることに感激しました。私たちクルーも、仲間の感情に共感できる人間でありたいと思います。



「うれしい」「かなしい」「おこっている」「げんきがでない」という感情を皆で共有していました。

少しずつ、着実に

滋賀県にある、ののみち保育園様の公開保育に参加させて頂きました。今年の4月に乳児棟の建て替えが完了した園で、以前現場の先生へ「そろそろ公開保育を受けてもいい時期ですね!」とお聞きすると「いや、うちはまだ、そんな……」と仰っていました。

色々なタイミングが重なり、公開保育をすることになりました。公開保育を行うことが決定すると建て替えて忙しい時期にも関わらず、「やっていくことしか見せられないので、あるがままを見てもらいたい! 仲間に見てもらって学びたい。見てもらえる仲間がいることが有難いです。」と、全て丸ごと学ぶ姿勢に満ち溢れていました。



園庭も新しくなりました。



保育環境の変遷

この2年間でたくさんの実践をされ、保育が変化していく過程を私たちも見させていだいており、今回の公開保育は感慨深いものがありました。また、2年間の毎月の変化を乳児・幼児ごとにわけ記録をされていました。その変遷を改めて見させて頂くと、本当に少しずつ、でも着実に変わっているという先生方の自信に満ちた表情につながっていることを改めて感じました。

私たちも仲間同士、学び合い、次お会いする時には実践から語れるよう、少しずつ着実に積み重ねていきたいと思っています。

「完成」ではなく「継続」

宮城県にある、しげる保育園様にお伺いしました。

園でミマモリングソフトをお使い頂いてから、今年で丸10年になります。今回、園長の沼田先生、主任先生に、発達項目について職員間で共通理解を深めていらいしやる実践を教えて頂きました。

例えば…保育所保育指針(以下、指針)の発達項目の中に、「くをつかむ」という文言が出てきた場合、手のひら全体で掴むことをいうのか、指で掴むことをいうのか、一つの項目について様々な解釈が生まれ、人によって発達の捉え方や、発達課題からの環境の整え方が変わってきます。



しげる保育園
<http://shigerukg.jp/hoiku.htm>

そこで園では午睡の時間を使って乳児・幼児のグループごとに集まり、発達項目を一つずつ深めて発達の見方の基準を作ることで、自園での保育観の共通理解を図っていました。沼田先生は「全部の項目を作るのには、時間がかかりました。でも、この話し合っていくプロセスが大事だと思っています。先生方も話し合うことで安心を感じていたようです。」とお話されておりました。少しずつ始めて、指針の5領域の項目全てを網羅するのに4年の月日がかかったそうですが、今後も話し合い、見直していくそうです。

つい完璧や完成を目的にして足踏みしてしまいがちですが、深め続けていく道だと思えば一歩が踏み出せる。私たちも一緒に歩いていく仲間との丁寧な実践の積み重ねを大切にしていきたいと思っています。

CCN

Caguya Company News

カグヤニュース

※カグヤでは、クルー同士別々の場所においても、互いの気持ちや様子が共有できるよう、「カグヤニュース」という社内報を毎日メール配信しています。ここでは、その中から一部を抜粋して、日々の実践をご紹介します。

おもてなしの心

月に一度の全体会議の日は、その月の担当クルーが作ってくれた朝ごはんを皆で一緒にいただくという「モーニング」の実践を行っています。朝から皆で「共食」できる嬉しさ・楽しさを感じますが、今月の担当クルーがどんな思いでモーニングを用意してくれたのかを聴いてみると、数日前から甘麹づくり、塩麹づくり、ヨーグルトやパンの準備をしていたそうです。そして、「先月の担当クルーが実家の農園で穫れた野菜をサラダにして振る舞ってくれたから」というこ



右下: ヨーグルトドレッシングのコールスロー



左上: 天然酵母パン
右下: 生パプリカとトマト豆腐のカプレーゼ風



共食の楽しさだけではなく、もてなす・もてなされる豊かさも感じられる実践になっています!

とで、自分もベランダで育てているパジルをパンやサラダに使ってみたのだと言います。さらには「出張続きのクルーの顔や、これまでモーニングを用意してくれていたクルーの様子を思い浮かべながら準備している自分に気づき、改めて、もてなすことの出来る仲間がいることの有難さを感じられた」とのことでした。

「仲間の存在が「層愛おしくなった」と言ってくれたその仲間の思いにも、もてなされた私たちも、嬉しく・楽しく・有難いことだなあと感じました。」

社内の稲から

今年も5月から、窓際の社内ガーデンで発泡スチロールの水田に稲を植えていましたが、密植していたため、稲が弱って枯れそうに…!?

そんな様子に気付いたクルーが、稲の気持ちになって、改めて心地よい適度な間隔で植え替えたと、今では元気に感じます。



以前は密植で狭そうでした



今では、広々とした環境で、スクスク育っています!

稲を育てることも、一筋縄ではいきませんが、しっかりと稲から学び、自分たちがどんな環境になれるのか、どんな環境を用意できるのかを考えて関わっていきたいと思います。

な姿を見せ、順調に成長しています。

田植えひとつとっても、ただやればいわけではない、心をこめてこそ大事なものを守れる「実践」となることを感じ、更には自然も私たち人間も同じように、特に幼少期や環境が変わってすぐの時は、まだ強くないからこそ、心を寄せ見守ることの重要性が際立つように感じます。

物々交換

今ではカグヤといえば「コレ」と言っていたただけのほど、カグヤ名物となった手作りの玄米クッキー。突然ですが、このクッキーを、日頃からお世話になっている郵便局の皆様へ持って行くことになりました。

いまは何かと警戒される時代。受け取っていただけるか不安がよぎります。窓口に郵便物を出しつつ、感謝と共に玄米クッキーを差し出すと…:不安



ありがとうの気持ちを玄米クッキーに…



気持ち繋がるお返しは美味しさも満点でした!

一期一会庵

「二つの地球、たつた一人」

先月、御取引先の学校の先生方と一緒にシンガポールにある未来型教育で有名なIB教育校を視察するご縁を頂きました。IBとは国際バカロレアの略で、そのプログラムは人類共通の人間らしさと地球を共同で守る心を知り、平和でよりよい世界を築くために貢献する、国際的な視野を持つ人間の育成を目指しているそうです。今回視察した学校では4歳から高校生まで西洋、東洋の差もなく色々な国の人たちが学校に入学しIBの理念の中で一緒に学び合っていました。

教育現場を通して実感したのは、異色の子ども達の関わり合いを通じて世界の人々がワンネス(一つの地球)の社会に向けてさらに進歩調和していく兆しでした。

シンガポールは2009年から国家戦略として「Teach Less, Learn More」少なく教え、多くを学ぶという基本方針を打ち出しグローバル時代の人材を育成する教育に移行しているそうです。どう

をよそに「美味しそう」と職員の皆様からは歓喜の声!その後も続々と「ご馳走さま!」の言葉と「満点の笑顔」を沢山いただき、そればかりか、お返しにニユーサマーオレンジまで下さったのです。感謝の気持ちとほんの少しの勇気が心を繋ぐ扉を開いた気がしました。

編集後記

竹取新聞をご覧頂きありがとうございます。今月もお客様や子どもたち、仲間や自然…と、沢山の縁の中で、多くの感動や学びを頂き、誠にありがとうございました。

暑さ厳しき折、皆様どうぞご愛下さい。

カグヤは「子ども第一主義」の理念を実践し、お客様の発展と自立に貢献していきます。

caguya
株式会社 カグヤ

本社
〒160-0023 東京都新宿区西新宿3-2-11
新宿三井ビルディング2号館10階
tel.03-5909-7155
fax.03-5909-7199

カグヤウェブセンター
〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1-1-17
東京堂神保町第3ビルディング8階
tel.03-3518-6217
fax.03-3518-6218

☎フリーダイヤル 0120-917-389
URL: <http://www.caguya.co.jp>
E-mail: support@caguya.co.jp
受付時間 月~金 9:00~18:00
(土・日曜祝祭日を除く)